

パズル・パレス

ダン・ブラウン著

インターネットで見た口コミで「ダ・ヴィンチ・コード」よりも面白い」と書いている人がいました。それならぜひ読んでみたいと思いいこの本を購入することに決めました。アメリカの諜報機関にあるすべての暗号を解読することの出来るスーパーコンピュータ「トランスレーター」に解読不可能な暗号ソフトが存在するという事から物語が始まりました。暗号を解読するための鍵を探すために主人公の一人である大学教授のデイヴィットがスペインへ派遣される事になります。諜報機関の職員でも無い彼が何故派遣されることになったのか?と思いましたがそれは読んでいて納得できました。そしてもう一人の主人公はデイヴィットの恋人で諜報機関の暗号解読官スーザン。彼女もまたアメリカでトランスレータの鍵を探そうと動いてました。実はその解読不可能な暗号ソフトはコンピュータウイルスだったのです。「アメリカの軍事機密が全世界にばらまかれるかもしれない」というハラハラ感とデイヴィットの役割の「暗殺者に狙われ死闘を演じながらも鍵を手に入れる」までのドキドキ感をたっぷり味わえる本でした。きっとバッドエンディングにはならないだろうと思いつつも、読んでいるときはそんな事を考える暇も無いくらい集中して読めました。早く次の展開が知りたくて深く考えずに読んだのもう一度読み返してようやく意味が理解できました。

F・N・



掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞